

従来の入札との比較（令和4年9月30日現在）

【別紙2】

※比較対象の条件：価格競争入札においては令和2～4年度に発注した案件との比較、従来の総合評価方式（施工能力審査型）においては平成29～令和3年度に発注した案件との比較となる。
各工種においては当該期間において同一格付の事業者が発注した入札と比較している。

入札実施件数

	全体	道路舗装 (A~C)	下水道 (A~D)	一般土木 (A~C)	建築 (A~C)	建築 (C~D)	建築 (C~E)	電気 (A~B)	電気 (B~C)	給排水衛生 (A~B)	給排水衛生 (B~C)	造園 (251~450位)	解体	一般塗装
新総合評価方式	15	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
価格競争入札	546	48	17	8	30	51	30	12	22	18	2	9	13	8
従来の総合評価方式	49	4	0	5	3	6	0	8	0	1	1	1	0	3

入札参加者数（平均）（総参加者数/案件数） ※希望申請を受付し、資格確認結果通知書を送付した事業者数。辞退等により応札しなかった事業者も含む。

	全体	道路舗装 (A~C)	下水道 (A~D)	一般土木 (A~C)	建築 (A~C)	建築 (C~D)	建築 (C~E)	電気 (A~B)	電気 (B~C)	給排水衛生 (A~B)	給排水衛生 (B~C)	造園 (251~450位)	解体	一般塗装
新総合評価方式	6.2	9	7	4	8	2	5	6	7	3	3	4	9	13
価格競争入札	5.46	8.41	5.35	3.75	8.16	5.17	4.6	9.08	7.04	3.16	3	5	6.3	13.75
従来の総合評価方式	4.44	3.25	—	3.2	4.66	3.5	—	4.25	—	3	4	5	—	10

応札率（平均）（応札者数/入札参加者数） ※入札参加者のうち、応札した事業者の割合。

	全体	道路舗装 (A~C)	下水道 (A~D)	一般土木 (A~C)	建築 (A~C)	建築 (C~D)	建築 (C~E)	電気 (A~B)	電気 (B~C)	給排水衛生 (A~B)	給排水衛生 (B~C)	造園 (251~450位)	解体	一般塗装
新総合評価方式	54.42%	48.21%	57.14%	25.00%	37.50%	50.00%	20.00%	33.33%	71.42%	100%	100%	75.00%	66.66%	38.46%
価格競争入札	61.00%	40.60%	52.42%	46.42%	49.10%	40.58%	56.69%	58.06%	55.25%	85.18%	66.66%	93.97%	78.01%	57.69%
従来の総合評価方式	57.82%	31.24%	—	35.00%	63.33%	62.50%	—	42.91%	—	66.66%	75.00%	100.00%	—	73.33%

落札率（平均）（落札金額/予定価格の平均） ※各案件における落札率の平均値。

	全体	道路舗装 (A~C)	下水道 (A~D)	一般土木 (A~C)	建築 (A~C)	建築 (C~D)	建築 (C~E)	電気 (A~B)	電気 (B~C)	給排水衛生 (A~B)	給排水衛生 (B~C)	造園 (251~450位)	解体	一般塗装
新総合評価方式	91.76%	89.31%	88.40%	90.50%	89.99%	89.44%	96.55%	96.87%	81.42%	96.96%	95.93%	97.89%	87.36%	95.98%
価格競争入札	91.24%	90.20%	92.46%	89.51%	87.81%	91.85%	89.83%	84.02%	83.96%	97.61%	98.02%	93.53%	81.82%	96.53%
従来の総合評価方式	95.46%	96.94%	—	95.81%	89.61%	88.76%	—	95.97%	—	99.54%	96.99%	93.63%	—	94.78%

不調率（不調（中止含む）/入札実施件数） ※入札を実施した件数のうち、不調の発生率。

	全体	道路舗装 (A~C)	下水道 (A~D)	一般土木 (A~C)	建築 (A~C)	建築 (C~D)	建築 (C~E)	電気 (A~B)	電気 (B~C)	給排水衛生 (A~B)	給排水衛生 (B~C)	造園 (251~450位)	解体	一般塗装
新総合評価方式	0.00%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0.00%	0%	0%	0%	0%
価格競争入札	9.52%	6.25%	5.88%	25.00%	6.66%	13.72%	33.33%	0%	9.09%	5.55%	50%	44.44%	23.07%	0%
従来の総合評価方式	8.16%	0%	—	20%	33.33%	16.66%	—	12.50%	—	0%	0%	0%	—	0%

低入札価格調査実施件数

	全体	道路舗装 (A~C)	下水道 (A~D)	一般土木 (A~C)	建築 (A~C)	建築 (C~D)	建築 (C~E)	電気 (A~B)	電気 (B~C)	給排水衛生 (A~B)	給排水衛生 (B~C)	造園 (251~450位)	解体	一般塗装
新総合評価方式	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
価格競争入札	17	0	1	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
従来の総合評価方式	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0

総合評価方式における得点状況（全体）

	価格点平均	価格点以外の 評価点平均	総評価点平均	価格点が1位でない 者が落札した割合
新総合評価方式	33.21769	25.19191	58.40961	40%
従来の総合評価方式	3.19	15.85	19.04	12.24%

*価格点は新総合評価方式では50点満点、従来の方式では入札価格が安いほど
高得点となり満点の考え方がない

*価格点以外の評価点は新総合評価方式では50点満点、従来の方式では25点満点

〈検証〉

- ・入札参加者数は従来の入札より微増している一方で、応札率は若干下がっている。
- ・落札率は価格競争入札に比べて0.5ポイントほど高く、従来の総合評価方式よりは低い。
- ・検証時点では不調となる案件は発生していない。
- ・新総合評価方式は従来の方式と比べると、価格点とそれ以外の評価点の均衡がとれている。また、価格点が1位でない者が落札した割合が高い。